

【ショットクロックオペレーター】

- 次のとき、ショットクロックを動かし始める。
 - (1) チームがボールをあらたにコントロールしたときは、そのチームのプレイヤーがコート内でボールをコントロールしたとき（ボールに触っただけではコントロールしたとは限らない）
 - (2) スローインのときは、スローインされたボールがコート内のプレイヤーに触れたとき
- 笛がなったらショットクロックをストップする（リセットボタンは押さない）。ファールやトラベリングなどのバイオレーションであればその後リセットするが、相手チームによるカットボールのスローインで引き続き同じチームがスローインする場合にはリセットしないで引き続き残り時間をはかる。
- シュートがあったときには、ボールがバックボードにあたってネットに触れても24秒を計りつづけて一切操作しない。リングにあたった時のみリセットする。その後リバウンドのボールが空中にある間やリバウンドボールを両チームが取り合っている間はショットクロックのリセットボタンを押し続け、表示しない。どちらかのチームがボールを確実にコントロールした瞬間から新たに計り始める。
(オフェンスのチームがコントロールした場合は14秒、ディフェンスのチームがコントロールした場合は24秒)
- ジャンプボールシチュエーションになって、引き続き同じチームがスローインするときは、リセットせずに継続して残り時間を計る。
- 審判の笛で止めたあと、それまでボールをコントロールしていた同じチームに引き続きスローインが与えられ、そのチームのバックコートからのスローインで再開されるときは24秒にリセットする。
また、フロントコートからのスローインで再開されるときは、
 - (1) ショットクロックの表示が、残り14秒以上であるときには、ショットクロックを止めるがリセットしない。
 - (2) ショットクロックの表示が、残り13秒以下であるときには、ショットクロックは14秒にリセットする。
- 審判の笛で止めたあと、それまでボールをコントロールしていた逆の相手チームにスローインが与えられるとき、スローインの位置がバックコートなら24秒にリセット、フロントコートなら14秒にする。（アンスポ等のスローインラインからのスローインも含む）
- 相手チームがボールを奪ってコントロールした時はただちにリセットして24秒を動かし始める。
- 審判が人差し指を立てて回す合図をした時には、ショットクロックをリセットする。
- ボールを新たにコントロールした時点で、各クォーターの残り時間が14秒未満だった場合はショットクロックを消して何も表示しない
- フリースローのときはリセットし、何も表示しない。

【指導にあたって】

- しっかりとルールを理解させたい。
- ボールがコントロールされたところからスタートになるので、早めたり、遅かったりしないよう心がけたい。
- アウトオブバウンズ、ファールがあった際に、あせってリセットをしてしまいがちなので、必ず何が起こったのか確認するまでは、計時をストップするだけにし、状況を確認後、リセットなのか、14秒に戻すのか、継続なのかの正しい処置を行う。

【メモ欄】